

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

謹賀新年

香川県漁業協同組合連合会

代表理事会長 服部 郁弘



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運営につきまして、格別のご協力を賜りありがとうございました。

さて、昨年の本県の漁業は、資源の減少、輸入水産物の増大や魚価の低迷・販売不振、魚類養殖における産地表示・養殖履歴の問題やノリ養殖における色落ちの問題、就業者の減少や高齢化・後継者不足等、厳しい状況が続いています。また、昨年は度重なる台風による高潮被害や、河川から流出した流木などのゴミで大きな被害を受けました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。本会におきましても漁連会館をはじめ県内外の施設に被害があり、復旧にご支援いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

このような中で、昨年 10 月 3 日には「第 24 回全国豊かな海づくり大会」が天皇・皇后両陛下ご来臨の下サンポート高松で開催され、県・高松市・水産団体が総力を挙げ本県の水産業をアピールしました。当日は、約 5 万人の来場者があり成功裏に終了しました。式典では、資源管理型漁業部門功績表彰団体として、サワラの漁獲量が 5 年連続で増加、順調に回復しつつあることが評価され、香川県さわら流しさし網協議会が大会会長賞を受賞されました。華やかな漁船パレードや女性部の方々による心のもった接待所・休憩所の運営など県下漁業者の皆様のご多大なるご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

また、11 月には東かがわ市引田に本会水産加工センターが竣工し、厳重な衛生管理のもとハマチ・

カンパチ・タイなどのフィレーを全国に出荷できる態勢を整えました。今後は、養殖魚類販売、香川の水産物販売の拠点としての役割を果たし、本県水産業の発展を図る所存です。

一方、漁協の合併は着実に前進し、平成 15 年度は 2 件 4 漁協が合併、平成 16 年度はこれまでに 1 件 2 漁協が合併し、県下の沿海地区出資漁協数は 40 となりました。さらに、現在 1 件 2 漁協が協議を進めております。また、組合員が安心して漁業に専念できるよう漁協の経営基盤を強化するため、事業の統合・効率化、組織改革を図り、組合員の期待と信頼にこたえる 1 県 1 漁協を見据えた取り組みが動き始めています。

県漁連といたしましては、本県水産業が抱える諸問題を克服し、将来に向けて安定的に発展させていくために、環境にやさしい漁業を念頭に置き、養殖業の積極的展開と、栽培漁業と資源管理型漁業の有機的な連携、新たな流通システムの構築等により「つくり育てて売る漁業」や安全・安心な水産物を消費者に提供する地産地消運動を推進し、「地域に根ざした活力ある香川型漁業」を確立することが急務であると考えております。また、漁業生産の源である豊かな海の環境保全について、海は県民共有の財産との認識の下に県民あげての運動として取り組むとともに、海難事故の防止や漁業と海洋性レクリエーションとの共存をめざす海面利用の適正化に取り組む必要があります。漁業基盤の強化を推進し、担い手の確保や都市住民との交流などに取り組み、活力と魅力ある漁村づくりを進めていくことも今後の重要な課題です。

本年も、厳しい経営環境が予想されるなか、会員・所属員の経済的、社会的地位の一層の向上を目指して取り組んで参る所存でありますので、会員各位をはじめ関係者諸賢におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の限りないご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。

香川県かん水養殖漁業協同組合

代表理事組合長 嶋野勝路



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

わが国の経済は景気の回復の兆しが見えるものの、水産業においては依然として厳しい環境が続いており、漁家経営を大きく圧迫しています。

とりわけ養殖業は極めて厳しい状況にあり、先行きの不安定要素は解消されておらず、今年こそ明るい希望に満ちた年でありますよう切に願う次第であります。

顧みますと、昨年のかん水養殖は輸入水産物の増大・産地間競争力の激化に加えて天然ブリ類の豊漁と相俟って消費が伸びず、ハマチ・カンパチが安値で推移して、生産原価を割る憂慮すべき事態となりました。全海水では、養殖業の危機的な状況に鑑み、需給に見合った生産調整をすべく全国枠をハマチ 2,200万尾、カンパチ 1,300万尾、マダイ 5,000万~5,300万尾として、各府県枠を設定して事態打開に向け、取り組んで参りましたが、外的要因からもあり大変厳しい年となりました。

就中、食糧産業との観点から生産者一体となり、食の安全・安心を喫緊の課題として、品質向上、生産履歴書の添付等、鋭意努力しているにも拘らず市場が反発しない要因は不均衡な輸入水産物にあると言わざるを得ません。国内の輸入水産物は、1兆5000億円に対し輸出は880億円で、輸出入収支は1兆4000億円余の赤字であり、現時点において、わが国は世界一の水産物輸入国であり、この上、I Q 枠の撤廃・関税の引き下げをすれば水産業は壊滅的な打撃を受けることは明々白々であり、W T O 交渉・F T A 交渉において全海水は国に断固反対の要望をしている次第であります。

斯かる現状の中、本年度も厳しいさ中ではありますが、消費対策・販売促進事業等に力点をおき、組合員の漁家経営の安定と向上に努めて参りたい。

最後に、かん水養殖業の発展と前浜の努力が報われるよう役職員一同、夢と希望と浪漫が持てるよう心を新たに取り組んで参る所存でありますので、尚一層のご理解・ご協力を組合員皆様に申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

香川県海苔養殖研究会

会長 岡田俊二



新年明けましておめでとうございます。

平成15年度は、前年と同様に早期の栄養塩低下による色落ちで、水揚げは低水準の結果に終わり、ノリ養殖業者は多大な打撃を蒙りました。更に平成16年度は相次ぐ台風が香川県内を直撃し

ました。中でも台風16号の高潮によるノリ加工施設等の浸水、また23号の強風や大雨により育苗中の種網や海上施設に甚大な被害を受け、その復旧作業で生産開始が遅れましたが、関係機関のご支援を頂き何とか摘採に漕ぎ着けられました。

しかし、栄養塩は高い状態に回復しているものの、海水温がなかなか降下せず故障等により年内は順調な生産にはいたっておりません。今後、海況の好転を期待し、早めに収穫を切り上げるのではないよう、少しでも長く漁期が続きノリ生産ができることを切望して止みません。

今年度からは下物対策として3円以下のノリは〔売らない〕方針を決定しましたので、皆さんも〔採らない〕よう〔作らない〕よう徹底されますことをお願いいたします。全国の共販状況を見ても商社は下物には手を出さない状況にあります。今年からは下物の見本をより早めに生産者に提示して、それを参考に下物を作らないように適切な判断をお願いいたします。また、漁期中や網上げ時には他漁種に迷惑をかけないように適切な対応をお願いいたします。

隣国との貿易自由化の中でノリのI Q 枠の撤廃が側聞されますが、輸入ノリが拡大しないよう注視していかなければなりません。生産防衛として輸入ノリには価格ではなく、食品としての安全性で対抗すべきと思いますので安全性を重視し、消費者即ち買い付け商社にも好まれるように異物混入のないロス率の低いノリ作りをするように更なる努力をお願いいたします。

また、平成17年度からは香川県漁連でも電子入札制度を導入するようですが、それが単に事務処理の簡素化、作業の効率化のみに止まらず生産者にもメリットがあるシステムとなるように要望しておきたいと思ひます

最後に、今年こそ豊漁であるよう願ひますととも

に、当研究会の会員、ノリ関係者の方々の今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

社団法人 香川県水産振興協会

会 長 服 部 郁 弘

新年明けましておめでとうございます。平成 17 年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、本協会の業務の推進につきまして、会員を始め関係者の皆様方の格別のご指導、ご支援を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

特に、昨年はいまだに例のない台風の襲来により、漁業はもとより県民の人命、財産に多大なつめ跡を残すこととなりました。

一方、本県漁業を取り巻く環境は、就業者の減少、高齢化の進展、漁獲量の減少や魚価の低迷などに加え、景気の回復が個人消費の拡大など裾野に広がりが見られない現状から漁家経営は依然厳しい状況であります。

こうした中、平成 16 年度本協会は、資源生産向上対策として、大型種苗放流事業の推進や操業安全対策として救命胴衣の設置着用、さらに、水産資源の維持培養と海の環境保全のため、県、市町、関係団体等との連携のもと海面、海浜清掃を積極的に実施したところであります。特に、台風により流入した大量のゴミ処理に取組まれました会員皆様方に対し心より感謝を申し上げます。

また、県内水産物の消費拡大を図るため量販店等との水産物流通懇談会の開催や水産物の街頭キャンペーンを実施するなど魚食普及活動にも積極的に取り組んで参りました。なお、昨年 10 月に開催されました「第 24 回全国豊かな海づくり大会」に水産団体の一員として参加協力し、かがわの魅力ある水産物の情報を全国に発信しました。

引き続き、平成 17 年度も、本協会の中核的事業である放流事業を始め、各種事業の一層の充実発展に努め県内水産物の振興に寄与する所存ですので、倍旧のご協力ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、本年は「ハマチ」が県魚に指定され 10 周年を迎えますことから、学校給食等への積極的な活用などを通じ一層の普及推進を図って参りたいと考えております。

最後に、本年が良き年となるよう念願するとともに、会員並びに関係者の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

香川県無線漁業協同組合

代表理事会長 服 部 郁 弘

新年明けましておめでとうございます。平成 17 年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当組合の運営につきまして、多大なるご協力とご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。本年も、漁業無線の維持発展のために、より一層の深いご理解とご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、平成 16 年は台風ラッシュとなり、日本列島に上陸した台風は計 10 個となり最多記録を更新しました。四国へも 6 個が上陸し、漁業も含め多大な被害がもたらされました。操業中など急激な気象の変化に、身の危険を感じられた漁業者も多いと思われませんが、自身の身を守るために救命胴衣を着用されるとともに、緊急時における最も確実な通信手段として、漁業無線を十分に活用されることを望む次第です。

現状として、漁船と貨物船等との衝突事故は多発しており、海上で操業する漁船と陸上との通信基盤としての漁業無線は、操業の安全と効率化による生産性の向上及び貴重な人命の確保という重要な役割を担っていると認識しております。したがって、当組合としましては本県の重要な基幹産業である漁船漁業の発展のため、今後とも地道な努力を続ける所存でございます。

また、陸上ではブロードバンドネットワークの進歩により国民との関わりはますます強くなってきておりますが、海上通信につきましてはその格差が拡大しつつあり今後の技術的進歩に期待し、組合員へ新しい情報の提供を推進していきたいと思っております。

終わりに、組合員並びに系統関係者の皆様方のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



全国漁業協同組合連合会

代表理事会長 植村 正 治

みなさま、あけましておめでとうございます。

厳しい漁業情勢が続く中、みなさまにおかれては、経営の維持・改善のために懸命のご努力をなさっておられることと存じます。

省みますと、昨年、我が国は多数の大きな災害に見舞われました。史上最多の上陸数となった台風や低気圧等が全国で猛威をふるい、漁業関連施設にも多大な被害を及ぼしました。被害にあわれたみなさまには改めてお見舞い申し上げますとともに、再生産のためのご苦勞をご推察いたします。

永年にわたる漁獲量の減少と、世界の水産物貿易額の 4 分の 1 にもなる輸入水産物により、魚価の価格破壊を招いております。W T O ・ F T A のめざす貿易の自由化から、有限天然資源産業を通して、世界に冠たる魚食文化を築いてきたわが国の漁業者と歴史と伝統のある漁村を守り、21 世紀の国民食料確保のため総力を結集しなければなりません。

ノリの I Q につきましては、これまで韓国産のみに輸入が認められていましたが、政府は来年から中国産ノリの参入が可能となるノリ I Q 枠のグローバル化の方針を打ち出しました。しかし、新たに韓国が W T O に提訴、2 国間協議を求めるなど予断を許さない状況となっております。私どもは、I Q 制度の堅持を今後とも国に要請してまいります。

昨年は異常な石油の高騰により、苦しい漁業経営にさらに追い討ちをかける結果になりました。このような中、政府に対応を要請しつつ、漁業用燃油の安定供給に特段の努力を傾けてきたところであります。

このような環境下で、J F グループの経営もまた、厳しいものになっております。より健全な経営を行ってゆくためには、2002 年に行われました漁協代表者集会において採択されたアクションプログラム、即ち 1 県 1 J F や自立 J F をめざす合併や 1 県 1 信用事業体制、県連・全国連の組織改革、各事業の見直しとコストの削減等々は避けて通れません。このためには、浜の金融確立のための基金協会との連携、J F 合併の足かせとなっている旧債の解消など、2007 年度の漁協合併促進法の期限を念頭に置き、目標を達成するための運動をよりいっそう強固に進めなければなりません。そして、これらを点検し、J F グループの新たな運動方針を定めてゆくため、本年の秋には漁協大会またはそれにかわる大会を開催する予定にしております。

昨年発表されました第 1 次漁業センサスにより、漁業就業者数は 23 万 9 千人と 5 年前よりさらに減少しております。また、政府は、水産物自給率を 65% まで引き上げる計画を打ち出しましたが、現在のところ効果が表れているとは言えない状況です。

こういった厳しい状況の中にあって明るい話題があります。自民党が水産部会の復活を決めたことです。1 月 18 日の自民党大会で正式決定となりますが、数年前に省庁再編が実施され、水産部会は独立していたものが農林水産部会に併合されました。それが昨年、自民党の若手議員の先生方が厳しい浜の実状打開の為、党中央本部に申し入れ実現となりました。

水産部会が再び独立して復活することは、自民党が水産に本気になってくれることの大きな証左であります。新年早々おめでたい話題だと皆様とともに喜びをする次第です。

魚食文化は、私たち日本人の健康と長寿をささえ、世界中から注目されております。漁業は国民食料を支える重要な産業です。加えて漁業・漁村は環境保全、人命救助、国境監視等々の多面的機能の役割を果たしています。基本は漁村(ハマ)です。漁村は日本人の心のふる里と言えましょう。

世の中の景気は回復基調にあると言われております。今年こそは景気が好調に推移し、水産業界も明るい話題が出てくることを祈念して、年頭の挨拶いたします。

乾ノリ初入札!

平成 16 年度県内産養殖ノリ(乾海苔)の初入札が、12 月 10 日(金)高松市瀬戸内町の本会共販所で 42 商社が参加し開催された。

今回の入札には、県下 10 漁協から約 2,100 万枚が出品され、平均単価は 11 円 56 銭だった。今漁期は、台風被害の影響などで本張り時期がやや遅れたが今のところ栄養塩もあり、生産量・品質とも例年並。今後、年末から年始にかけ本格生産に入る。

なお、第 2 回共販は、12 月 23 日に行われ共販枚数 6,369 万枚、平均単価 10 円 86 銭だった。3 月末まで 9 回の入札会が開催される。



初入札の風景

みとよおさかな市 “2004” 3年振りに開催!

みとよおさかな市“2004”開催実行委員会(三豊地区7漁協、1市4町、県漁連、県信漁連、県水産振興協会)は、三豊地域で水揚げされる地域水産物の消費拡大を推進し、地元水産業の振興と活性化を図ることを目的に、11月28日(日)午前9時30分から、観音寺市瀬戸町の伊吹漁協煮干集出荷場で『みとよおさかな市“2004”』を開催した。

このおさかな市は、“2001”を開催後2年間休止していたが、地元消費者からの強い要望に応え、3年振りに復活、開催となった。開会約30分前ともなると、大勢の来場者がところ狭しと並べられた鮮魚、活魚販売コーナー前に押し寄せ、お目当ての魚介類を品定めしていた。前日からの強風にもかかわらず、販売コーナーには大小たくさんの活ワタリガニをはじめ、スズキ、カレイ、ゲタ、小エビなど、他には漁協女性部によるタコの天ぷら、いか焼き、煮干しなどなどたての三豊の海の幸、県漁連による水産加工品、冷凍品等がてんこ盛りであった。

定刻の9時30分には、小濱開催実行委員長から開会宣言があり、その後来場者は一目散に販売コーナーへと足を運んでいた。販売コーナーの他には、うどん、おにぎりなどの飲食コーナーや、プロが作る三豊のお魚を使った料理の試食コーナーもあり、こちら也大盛況となっていた。

アトラクションでは、12時30分より水産振興協会によるお魚ビンゴゲームが先着100名限定で開催され、図書券やお魚キーホルダーなどの景品を目当てに、子供達が歓声をあげ会場を盛り上げていた。

フィナーレは、午後2時に浅野副委員長の閉会挨拶の後、大漁もちなげ大会が実施され、もちを目当てにというよりも、もちの裏に貼られた副賞の水産物を目当てに、来場者が火花を散らしていた。副賞の水産物は、ハマチ、マダイ、スズキなどの鮮魚や、煮干しなどの加工品約50個が用意された。もちの裏を確認し、副賞の豪華賞品と交換した人は両手でハマチなどを抱え、大喜びで会場を後にしていた。

大盛況のうちに閉会となった今回のイベントであったが、来場者からは「来年も是非開催して、年に一度の恒例行事にして欲しい。」と早くも来年の開催を熱望する声が聞かれ、主催者一同も来年に向けての決意を確認しあっていた。

第24回全国豊かな海づくり大会記念 「海を愛する子供たちの作品展」 絵画・習字・作文入賞作品の紹介

香川県知事賞

四年 池下 采

鳥

坂出市立東部小学校4年

池下 采

五年 鎌倉 里衣

な豊か
海か

三木町立氷上小学校5年

鎌倉 里衣

六年 伏見 友里子

青白
松砂

高松市立前田小学校6年

伏見 友里子

「海にもぐったぼく」

内海町立星城小学校 5 年 三木 悠児



「海～ずっと豊かに～」

高松市立川島小学校 6 年 久保 裕美



一年
漁栽培
坂口
絢香

高松市立龍雲中学校 1 年

坂口
絢香

二年
漁栽培
阿部
みなみ

高松市立山田中学校 2 年
阿部
みなみ

三年
漁栽培
松浦
彩

丸亀市立西中学校 3 年

松浦
彩

主な行事予定 (1/4 ~ 1/31)

- 1 月 4 日(火) 仕事始め
- 5 日(水) 新年初市祈願祭 (中央卸売市場)
- 8 日(土) 第 3 回のり入札
- 1 8 日(火) 第 4 回のり入札
- 2 7 日(木) 第 5 回のり入札
- 2 8 日(金) 税務説明会

訃報

詫間漁協 故尾崎 兼義 組合長

平成 1 6 年 1 2 月 8 日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。